

第32回教育美術展奨励賞作品より

- ・ マーガレット幼稚園園児 (苫小牧市) : 左上
- ・ 望洋台小学校6年生 (小樽市) : 右上
- ・ 手稲宮丘小2年生 (札幌市) : 左下
- ・ 羽幌中学校2年生 (羽幌町) : 右中
- ・ 仁倉小学校4年生 (佐呂間町) : 右下



<目次>

・ 第32回教育美術展奨励賞作品	1 (表紙)
・ 北海道造形教育連盟委員長挨拶	2
・ 研究の方向、ネットワーク部会の活動	3
・ 第56回全道造形教育研究大会札幌大会のご案内	4~5
・ 地区サークル・NOW 18 (近況だより)	6~7
・ 第33回教育美術展に向けて	8



**北海道
造形教育
連盟報**

No.122 2006.7.10発行
 発行 北海道造形教育連盟
 委員長 今 裕子
 事務局 札幌市立前田北小学校 菅原 清貴
 〒006-0820
 札幌市手稲区前田10条18丁目4-1
 TEL684-0123・FAX684-3497



未来につながる造形活動

造形教育連盟56年目－2006年度の歩き方

北海道造形教育連盟

委員長 **今 裕子**
(澄川西小学校)

はじめに・・・

56年の歴史をもつ造形教育連盟の18年度地区委員総会は4月22日全道各地の会員、地区の代表の方のたくさんの参加をいただき開催されました。今年度も引き続き、委員長の任に就くことになり、役員・本部事務局員と共によろしくお願いたします。

さて、昨年から実施させていただいている、総会前の「全道ネットワーク部会」を今年は2時間を設定し、各地の情報交流を中心に図工・美術のおかれていた課題や指導上の悩みなどを率直に語るができるようになりました。

今回は全道大会札幌大会の際に、函館大会と同様ネットワーク部会をもち、より広範な研究交流を行うことを確認しました。また連盟のホームページをリニューアルし、研究・事業・各支部の活動等がネットを通じ、これまで以上に活用いただけるものと期待しております。

函館大会を振り返る

- 地域に根ざす研究＝歴史や文化、経済など多面的な財産を生かした造形活動
- 社会の変化の中で、造形教育の果たす役割と社会＝そこに発信する授業
- プロジェクトによる企画・推進システムや目的の共有化による授業

大会研究集録にはアートプロジェクト「ハコデジアート探検隊」の実践と探検終了後のアンケート集計に、活動の事前・事後の子どもをの姿をはじめ、探検にかかわった方々の意識の変容などが具体的にまとめられていました。新たな財産と歴史が刻み込まれたことでしょう。

函館地区の皆様の研究成果が今年度の札幌大会に

つながり、共に深めることの出来る研究となるよう願っております。

楽しい授業－子どもに寄り添って

札幌大会では、子どもが造形活動を通して学びたいこと、学んでいること、そして学び続けたいことをしっかり受け止め、「造形活動」が子どもの成長にいかにか切であるかを子どもの姿、授業で主張したいと思います。

そこで、16年度の総会において研究部から報告のあった「北海道の子どもの美術・図画工作の現状を捉えるためのアンケート」を基礎資料とし、改めて現状の把握と分析を行います。そして私たちの調査資料として活用を図ることはもとより、考察と主張を加えて「文部科学省」をはじめ教育に関わる関係機関に意見書として提案していくことを考えております。

全道大会の私たちの主張は、子どもを取り巻く不安を和らげ「楽しいな」「これでいいのだ」「もっとやわらかに」「もっとしなやかに」と、子どもの目線に立った授業、子どもに寄り添う授業とはどのようなものか、確かめ合い、見つめ直す場にしたいと考えています。

造形の未来と子ども達の幸せを願って

かつて21世紀は未来でありましたが、すでに私たちはこの未来の中で生きています。描いていた「未来予想図」が本当に子ども達の夢を膨らませるために、造形・美術の意義を語り合い、伝え合い、実践に生かしましょう。

そして子どもにとって「図工・美術の時間が魅力的で大切に楽しさあふれる時間！」となるよう、共に発信し続けていきたいものです。

18年度 役員・本部事務局員紹介

- | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------------------|
| ○委員長 | 今 裕子 (札幌市立澄川西小長) | ○監 査 | 植木 則子 (札幌市立常盤小長) |
| ○副委員長 | 藤川 潔 (函館市立千代ヶ岱小長) | ○事務局長 | 菅原 清貴 (札幌市立前田北小長) |
| ○副委員長 | 宝輪 勝己 (釧路市立芦野小長) | ○会計部長 | 益村 豊 (札幌市立菊水小長) |
| ○副委員長 | 桑田 正博 (江別市立角山小中長) | ○庶務部長 | 箭内 浩之 (札幌市立真駒内曙小) |
| ○副委員長 | 坂野 潤治 (旭川市立北門中長) | ○研究部長 | 川島 正夫 (札幌市立幌南小) |
| ○副委員長 | 寺嶋 文憲 (札幌市立東米里小中長) | ○事業部長 | 福島 由紀子 (札幌市立澄川西小) |
| ○監 査 | 高橋 潤 (釧路北陽高) | ○広報部長 | 東 尚典 (札幌市立大谷地東小) |



「わたし」と「あなた」がつくりだす 喜びをわかち合う造形活動を

北海道造形教育連盟

本部研究部 研究部長 **川島 正夫**
(札幌市立幌南小学校)

1. 自己創造感が生まれる造形活動を

私たちが造形活動を通して子どもに味わわせたい感情は「あー、うまく表せた！」というものに留まるのではなく、「あー、楽しかった。またやりたいな！」と活動に没頭し、ひたる中で生まれる感情ではないかと考えます。そして私たちは、学習で育みたい力を明確にしつつ、子ども自身、あるいは子ども同士で「こんなことが表せた!」、「自分の力を出し切れた!」、「取り組んだ甲斐があった!」と認め合える<学びの実感のある授業>をつくり出していく必要があると考えています。その過程において、単に「上手にできた、表せた」というのではなく、「自分にしかできない作品がくれた!」と子どもが感じ、<自分にとっての新しい意味や価値をつくりだしていく>という、「確かな表現」を実現させたいと考えます。学びの実感がある授業を通して、造形的な感覚や判断力、表現力を育てていきたいと考えているのです。大人側からの画一的な力の育成ではなく、一人一人のもてる力や課題、求めに応じた造形教育観こそ、私たちが目指すところです。個のよさや課題に応じた教育によって、子どもに自己表現の喜びを取り戻させたいと考えているのです。

2. 「造形のWA」による題材づくり

- ◇五感を働かせ、造形的な楽しさが感じられる題材
- ◇造形的な思考力や表現力が高められる題材
- ◇よさや課題を自覚することから、有能感や効力感を高められる題材

このような題材こそが、学びの実感のある授業につながる題材と考えています。このような題材観こそが、一人一人のよさや可能性に寄り添った造形教育を成立させる要件と考えているのです。

ただいま、札幌では、大会に向けて上記の要件に基づいた「造形のWA」という考え方をもとに授業づくりを進めています。

わたし(W)とあなた(A)がつくりだす喜びをわかち合う(WA)造形活動を全道の方々に提案できればと考えています。



各サークルの活動と課題

北海道造形教育連盟

ネットワーク部長 **小林 知広**
(札幌市立前田北小学校)

4月の地区委員総会の折に行われたネットワーク会議の話し合いの中で、日常かかえている課題や各サークル独自に取り組んでいる活動などが交流されました。

ネットワーク部会は、「仲間が、つながる・ひろがる・ふかまる」のテーマのもと、会員が日頃考えていることや悩みなどを、交流することで解決したい、そして、この交流を通して全道の先生が互いに情報を発信し、バックアップできれば素晴らしい成果につながると考えています。

今回、話題となったことは大きく2つでした。1つ目は、図工・美術教育を専門としていない教師に対するサポート体制です。実際、地方によっては美術免許をもたない教師が授業を行なわざるを得ない場合もあるとのことがあり、それらの先生方への支援は重要な課題と言えます。

もう1つは、各サークルで行っている活動の交流がサークル内だけにとどまっており全道での交流の場がないということでした。

そこで、1つ目の課題については、今後も交流を重ねよりよい方向を考えたい、そのために継続的に取り組んでいくべき内容であると考え、ネットワーク部会の中心課題にしたいと考えました。また、2つ目の内容に関しては、まず手始めに札幌大会で行われるネットワーク部会の際に、各サークルでの活動の交流を行うことにしました。

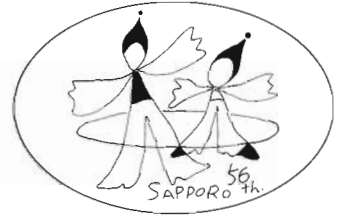
連盟ホームページの有効活用も大きな力となるということも確認され、これまでのホームページを再構成することにしました。「ちょっと困ったときにアクセスすると、何かヒントになることが得られる。」そんなホームページにしていきたいと考えていますので、是非、一度ご覧になっていただきたいと思います。

これからも、図工・美術教育が大好きな子供たちを一人でも多くするために、皆さんで話し合いを進めたいと考えています。

何といても、「ひと」と「ひと」のつながりがネットワークの力ですから……。

第56回 全道造形教育研究大会

札幌大会



◇大会テーマ

～造形教育を「ひらき」、「すくすく育て」、「つくるの大好き！」な子どもを～

◇研究主題

『楽しさあふれ、確かな表現を実感する造形教育』

■会期 2006.7.26(水)～27(木)

■会場 1日目：【大会会場】 札幌市立澄川西小学校
 【レセプション会場】 サッポロビール園
 2日目：【イベント会場】 札幌芸術の森

サッポロで子どもが花開く姿に出会いましょう!

第56回 全道造形教育研究大会札幌大会 実行委員長 菅原清貴



◆ もっと、もっと子どもたちを幸せにあげましょう。サッポロは、造形教育を通し、いっぱいのパラダイスを子どもたちに提供し、子どもの幸せを創造します。



- サッポロで…子どもが輝く、感性をみがく場を【これまでの蓄積を通し】
- サッポロで…生活の場・対象とのふれあいを通し、子どもが輝く!
- サッポロで…子どもが輝く、五感を大切に【みる・きく・かぐ・ふれる・あじわう】

子どもに寄り添う造形教育をサッポロで!

1日目 (26日:水) 札幌市立澄川西小学校の日

指導・助言: 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 奥村 高明 氏
 ネットワーク部会指導・助言: 全国造形教育連盟委員長 富安 敬二 氏

9:00	10:30	11:10	12:20	13:30	16:00	18:30	20:30
階段式授業公開	開 会 集 会	授 業 検 討 会	昼 食	課 題 別 分 科 会 ネットワー ク部会	移 動 ・ 片 づ け	歓 迎 レ セ プ シ ョ ン	

2日目 (27日:木) 札幌芸術の森の日

9:40	9:50	10:30	12:00	13:20	15:00
入 場 開 始	開 始	PMFと造形表現の コラボレーション	映 画 「トントンギコギコ図工の時間」 上映	野中真理子監督 トークショー	映 画 「トントンギコギコ図工の時間」 上映
クラフト工房夏休みの特別講習 ●		ガラス・陶芸・染色など			「クラフト工房」体験
ポティペンティングで彫刻に大変身!					

公開授業および提言と分科会（扉）

扉	題材名（校種・学年）	授業者	提言テーマ	提言者	助言者	運営
くらしと造形	「とんだ?とんだ!」 (小学2年)	八子 晋嗣 (山鼻南小)	「生活に 生かせる粘土」 (小学5年)	松本 和彦 (発寒小)	寺島 文憲 (東米里中)	●運営 山 薫 (上野幌東小) ●司会 大高 雅子 (平岡緑中) ●記録 新見亜矢子 (平岸高台小)
	「つなげて、すてき ながめて、きれい」 (小学4年)	岩井 久根 (二条小)				
	「カラフルな 本焼き皿」 (中学2年)	八子 正人 (発寒中)				
くらしと造形	「Bくみ わくわくランド」 (幼 年長)	佐々木瑠美 内田 芳恵 (なかのしま幼)	「遊びの必要感や イメージが 心を動かす」 (幼 年中)	川口いずみ (白楊幼)	益村 豊 (菊水小) 中村 郁子 (釧路市立美原小)	●運営 桜田 悟 (光陽小) ●司会 石川 早苗 (宮の丘中) ●記録 椿野 衣江 (真栄中)
	「むくむく わくわく」 ～大きなたばく・たし～ (小学2年)	池田 武彦 (月寒小)				
	「彫刻美術館の 音楽会」 (小学3年)	森實 祐里 (三角山小)				
	「思いをかたちに」 (中学2年)	市川 雅基 (屯田北中)	「水墨画で心を はぐくむ」 ～基礎演習から 表現へ～ (中学3年)	高橋久美子 (福井野中)		
	「映像メディア表現」 (高校複数校)	川上 勉 (白陵高)				
つながる造形	「すみにし つながるネット」 (小学全校児童)	澄川西小全教諭 (代表福島由紀子)	「どろんこパーク」 (小学3年)	三浦 麻紀 (三角山小)	菅原 清貴 (前田北小) 墓田 充泰 (石狩市立花川北中)	●運営 八田 博之 (中央小) ●司会 向井 正樹 (あいの里東中) ●記録 小野 博史 (東山小)
	「古代からの おくりもの」 (小学4年)	磯部 雅之 (常盤小)				
	「絵文字で伝えよう」 (中学1年)	舘内 徹 (藤野中)				

芸術の森イベント紹介（2日目）

音楽と造形の共演!

札幌の夏を彩る国際的なイベントPMF（Pacific Music Festival：国際教育音楽祭）とのコラボレーションが実現します。オーケストラの生演奏から受け止めたイメージを、小中学生が即興的に造形表現します。音楽と造形、そして小中学生の表現がどうかたちづくられるでしょうか。乞うご期待！

指揮者：PMFオーケストラ・レジデント・コンダクター
サシャ・ゲッツェル

演奏会：バレエ音楽「ペトルーシュカ」
第4場「謝肉祭の日」夕方

～それは、子どもたちのたましいが光り出す 奇蹟の時間～
野中真理子さん監督の映画、シリーズ第二弾、「トントンギゴギコ凶工の時間」の上映会を開催。今回は、直に監督ご自身が来札され、上映後には、映画についてお話を伺うことができるまたとない機会です。

映画について、そして凶工の時間の素晴らしさについて、みなさんと語り合いたいです。

◇当日は「札幌芸術の森20周年」にあたり、参加者向けの特典が他にも用意されています。どうぞ多数のご来館をお待ちしております。

「トントンギゴギコ凶工の時間」 映画上映&監督トークショー

地区サークル・NOW

18

全道の各地区サークルの紹介や、近況をお知らせするコーナーです。今回から、地区活動などのPRコーナーも設けてみました。

「留萌は留萌の道を」

留萌地方美術教育研究会 齊藤友昭
(増毛町立増毛小学校)

留萌地方美術教育研究会（通称留美研＝るびけん）は、今年度、第36回管内研究会を行います。数多くの先輩方の造形教育に賭けた情熱に支えられて、36年という長い留美研の歩みがあるものと痛感しております。

さて、現在の本会の主な活動は年1回の研究大会と研修会の開催（隔年で授業公開）、管内児童生徒版画展、絵画展の実施（それぞれ隔年）、版画カレンダーと版画集の発刊などです。少人数でこの多様な活動を運営するのは正直なところ大変です。しかし、携わる一人一人が、管内造形教育振興に役立つという気構えを持ち取り組んでいます。

さらに、管内の研究の場は年に1回ですが、各市町村では、留美研の会員を中心として、実技研修や研究授業、提言による協議などを地道に行って指導力の向上に努めています。

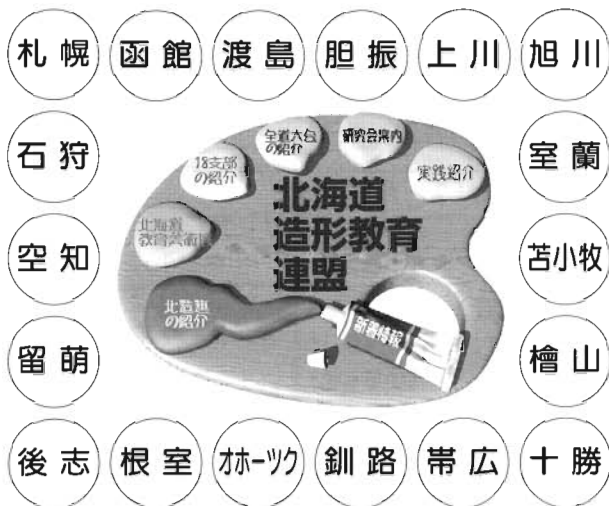
特に、版画集の発刊と版画カレンダーの発行は、少人数の会としては、例がないものと自負しております。近年、児童数の減少等で、販売数の減少もあり、運営費用などの経費の捻出に頭を痛めていますが、後世に残していける留美研の生きた活動の証として、今後も継続していくことを固く決意しております。

それにしても、最近の日本海の夕日は、筆舌に尽くせない美しさです。

「オホーツク造形教育連盟の紹介」

オホーツク造形教育連盟委員長 光岡光彦
(網走市立中央小学校)

本連盟は、管内の造形教育の研究団体としては唯一で、「一人一人が造形的な喜びを実感するために」



を研究テーマとして造形教育を推進しています。

昨年度は、北見市教育研究協議会「図工・美術部会」の教科部会とタイアップし、本連盟会員の小学2年生図工「〇〇ゲーム作り」の授業公開、須貝顧問が実技研修の講師として「ウィルタ紋様」の切り絵を行いました。管内からの参加者を含め40名で管内大会を開催致しました。児童一人一人が生き生きと活動し、造形的な喜びが感じられる授業と好評を得ました。また、参加者からは日常の指導上の悩みが出され、解決に向け意見交流を行いました。終了後には会員を中心とした反省・懇親会で、指導して頂きました顧問の先生を囲んで楽しいひとときを過ごしました。他、全道造形研究大会への会員の派遣、会報の発行を行っています。

本年度についても、管内大会では、公開授業や顧問の先生方を講師として得意分野の実技研修、全道研究大会札幌大会への参加、研修録の発刊等を通し、会員の連携と図工美術指導者の資質・能力の向上に努めていきたいと思っております。

「釧路造形教育研究会の紹介」

釧路造形教育研究会事務局 高橋潤
(釧路北陽高等学校)

釧路造形教育研究会（釧造研）は現在、小学校教諭24名、中学校教諭15名に高校教諭、共同研究者、美術団体関係者、顧問を加え52名を数えます。

本研究会は古くから釧路に根ざした図工美術教育に携わっています。その活動の一つとしては「造形教育展」があります。小学校夏休みの工作作品、中学校授業作品等、出品数の制限を付けながらも360余作品を展示し、来場者も2週間で1000人以上を数えます。

もう一つは「実技研修会」です。市内の図工美術を指導されている先生方を対象に、指導法や評価だけでなく、児童生徒への声かけや褒め方のポイント

トなどについても、具体的な話を交えて本会顧問に講演いただいたり、「すぐに使える楽しい教材」と銘打ち、本会員の実践教材を紹介し、参加者に体験してもらったりしています。また、市立美術館や釧路芸術館の学芸員による教職員対象の「鑑賞講習会」も開催しています。

描いたり作ったりすることが好きな児童生徒を育てるためには、まず先生が好きになることが大切。美術が専門ではない先生方にも、少しでも良い授業ができたと実感してもらえようなお手伝いをしていこうと考えています。

さて、来年度の全道研は釧路で行われますが、私たちの取り組みの中から、きっと全道の皆様に発信できるものがあると自負しております。

詳しい紹介は後日として、まずは本会の紹介とさせていただきます。

「平成20年度、北広島市で会いましょう」

石狩造形教育連盟事務局 伝住修一
(江別市立いずみ野小学校)

石狩には管内の図工美術の教員が共に研究する組織として「石狩教育研究会（通称：石教研）～図工美術部会」があります。管内全体や各市町村で、研究主題や研究内容を設定し、授業研究、実技研修等を行っており、その意欲は素晴らしいものと自負しております。

石狩造形教育連盟は石教研会員の一部が中心となって研修を進めており、管内の美術教育の現状を広く地域、保護者に理解してもらうことを目的とした「教育美術展」を中心に活動を行っております。美術展開催中は、家族連れで我が子の作品を鑑賞したり記念写真を撮ったりする微笑ましい様子が見られ、また、通りがかりの通勤、通学の方々が児童生徒の力作に興味深そうに目をとめる光景がみられます。

開催して10年目を過ぎましたが、毎年800名前後の鑑賞者があり、活動が定着してきています。

現在、石狩造形教育連盟では、平成20年度の全道造形教育研究大会（北広島市）開催に向け、準備を進めています。今年度の札幌、来年度の釧路の研究に学び、「授業に生きる研究」、「来てよかったと言っていただけの研究会」を目指しています。

再来年度の話は鬼が笑いそうですが、北広島市でお待ちしています。

「胆振造形教育研究会の紹介」

胆振造形教育研究会事務局 玉田博
(むかわ町立鷗川中央小学校)

胆振造形教育研究会は、今年度の研究テーマ「心豊かに創りだし、喜びが味わえる造形教育のあり方」のもと、会員20名でスタートしました。

年々会員数は減少し、若い先生方の研究会への参加も少ない状況が続いていますが、昨年度は「実技研修／人物デッサン」を開催することができました。講師に佐藤光男先生を迎え、「人物の描き方や構図」などをわかりやすく丁寧に教えていただきました。どの先生方も集中して熱心に取り組み、私自身、感心感激の2時間でした。

今年度は、「版画の指導法」について講習会を行う予定です、先生方のニーズに応え、彫刻刀の持ち方や紙・インクの特性、刷り方など、基本的なことに重点を置いて、版画の授業にすぐ役立つことができるような内容ができればと考えています。

今後も広く先生方に参加を呼びかけ、本研究会が一層充実したものになるように努力していきたいと思っています。

【空知美術教育研究会からのお知らせ】

○「第43回 全空知子どもの作品を語る会」を開催します！

・期 日 18年11月8日（水）

・会 場 三笠市立美園小学校

空美（くうび）ならではの活動です。参加者が互いに作品を持ち寄り、作品を通して子どもを語り合う会です。

○空知美術教育研究会のホームページをご覧ください！

URL <http://www.ee-miss.com/~sorati-art>

※問い合わせ先 中澤 孝仁（岩見沢市第二小学校）

第33回 北海道教育美術展

応募要項概要について

正式な要項については後日発送の予定ですが、概要についていち早くお知らせしたいと思います。
今年度も、全道からたくさんの作品をご応募いただきますようお願いいたします。

応募の対象

・保育園・幼稚園・小学校・中学校 に在籍する園児及び児童

応募の規定

- ・ 絵画、版画、デザインなどの作品とし、学校（園）を窓口として応募する。
- ・ 大きさは4つ切り。4つ切り以下の作品は、4つ切り大の台紙に貼ること。
（中学校については、8つ切り大の台紙も可）
- ・ 1人1点の出品とする。（前年度の作品はご遠慮ください）
- ・ 作品の裏に応募票を貼る。
（応募票は募集要綱に載っているものをコピーして使用する）
- ・ 応募総数を学年別出品一覧表にまとめて添付する。
- ・ 作品は学年ごとに重ねて一つにまとめ、表に「教育美術展作品」と記載する。




☆絵画・デザインなどで様々な材料を用いた表現が見られますが、展示・保管上、次の規定をお守りください。

- * 積み重ねてもつぶれない、かさばらない
- * 接着が強固ではがれたりとれたりしない
- * 画鋏で展示が可能な重量である

締切・送付先

- 平成18年12月18日(月)まで
期日厳守のこと
- 〒005-0002
札幌市南区澄川2条5丁目7-2
札幌市立澄川西小学校
北海道教育美術展係 宛

- ◇主催 北海道造形教育連盟
北海道新聞社
- ◇後援 北海道教育委員会
- ◇協賛 さっぽろ東急百貨店

 株式会社 サクラクバス

問い合わせ先

札幌市立月寒小学校

池田 武彦

TEL:011-851-9348 FAX:011-851-2358

◆審査会へのお誘い◆

12月26日・27日の両日、札幌市立澄川西小学校を会場に「教育美術展審査会」が開催されます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからも多くの先生方が審査会に参加しております。全道から1万点以上の園児、児童、生徒の絵画・デザイン作品が集まり、作品を見ることを通じて実践について研修し合う、またとない機会です。是非、審査会へも多数ご参加ください。

NEW
北造連HomePage

この度、リニューアルしました。新しいURLは
<http://hokuzou.kir.jp/> です！
たくさんのアクセスをお待ちしています！

あ と が き

こうして連盟報122号を皆様のお手元にお届けすることができ、部員一同ホッとしています。今回も各地区サークルには、組織体制の確立や活動の円滑なスタートのための地区運営にお忙しい時期に、原稿作成や諸調査へのご協力をいただき心より感謝しております。会員のニーズに応えられるような紙面の充実に向けて、ささやかな歩みではありますが努力しておりますので、どうぞ、皆様からのご意見をお聞かせください。もうすぐ札幌大会。全道のお仲間と大会でお会いできるのを楽しみにしています。

<北海道造形教育連盟広報部>

中山 龍雄・小林 充裕・土肥 宏充・松本 和彦・富波 修・山室 ゆかり・伊藤 聡美・平井 歩・東 尚典